

王非：退休以后能够每天专心致志地看京剧是我的理想。我好不容易从没意思的公司工作中解放出来，你就让我干我自己喜欢的事儿吧！

刘兰：你想做什么就做什么。我没意见。我只是担心您的身体。

王非：太谢谢了，你尽可以不担心我的健康状况。你自己也可想做什么就做什么。

刘兰：好好好，跟你这种以己为重的人无话可说。好，我先睡了。

晚安！

〔刘兰把没有织完的围巾放在沙发上进了卧室。（下台）王非看了一会儿京剧后发困了。他站起来，打了个大哈欠，把电视关上也进了卧室。（下台）〕

.....

〔舞台转换。王非的梦 ①〕

王非：你叫什么名字？

美兰：我叫美兰。

王非：你真像兰花一样华丽、漂亮。诶，“兰”这个名字我好像在哪儿听过似的。想不起来。好，没问题。今晚咱们庆祝胜利吧。大家尽情地喝、唱、跳！

〔一个歌手唱流行歌曲。〕

王非：这首歌是什么？我没听过。

美兰：这是最近很流行的歌。

王非：是吗。她唱歌唱得很快。我喜欢以前的歌。

美兰：我喜欢现在的这种歌

王非：好，好。你想听什么就听什么吧。

美兰：太谢谢您了。

〔美兰偎依着霸王，一口气喝干。〕

王非：今天我喝酒喝得太多了。我想睡觉了。

美兰：不，不。您不应该睡觉。

王非：不行了。睡意搅得我无法战胜自己了。还是让我睡吧。

美兰：霸王，霸王。您别睡觉。

.....

〔舞台转换。王非家的卧室。王非睡醒了。〕

王非：唉，是梦！

〔刘兰从舞台右边出来。她拿着要洗的衣服。〕

刘兰：你睡得好香啊，该起床啦。

王非：……。

刘兰：坐着发什么呆，快起床吧。我要收拾房间了。

王非：你真唠叨。我这不是正在起床嘛！

〔王非起床，去盥洗间（下台）〕

〔那天晚上，王非在看京剧录像带。刘兰用毛线在织围巾。〕

刘兰：王非。下次咱们一起坐旅游车去玩儿吧。

王非：……。

刘兰：你没听到吗？

王非：别出声。现在正在演最精彩的部分。

刘兰：哎哟！京剧比我重要是吗？

王非：……。

刘兰：上次的旅行，老李夫妇俩可是一起参加的。

王非：我还是不去了吧，一路上车颠颠簸簸的不说，到了名胜古迹也是急急乎乎的，这种旅游除了累，没别的。

刘兰：你可真是一点儿不关心我。算了。随你的便吧！

〔刘兰把围巾放在沙发上，进了卧室（下台）。王非关上了电视也进了卧室。（下台）〕

.....

〔舞台转换。王非的梦 ② 在庆祝胜利的宴会上，一个舞姬在跳迪斯科舞。〕

王非：那个舞姬的舞蹈怎么有点儿……

美兰：怎么你不知道吗？。这是最近最人气的。

王非：是吗。可是我不太喜欢那样的舞蹈。

美兰：你慢慢就会喜欢的。来，来，再来一杯吧。

〔那时候从外面听到喊叫声。〕

“霸王！敌军来了，敌军来了，快逃啊！”

〔王非和美兰手拉手在舞台上东跑西窜。跑着下了台。〕

.....

〔舞台转换。王非的卧室。王非魔住了。〕

王非：唉。这也是梦！

〔他觉得很累。把手捂在心脏的上面，怦怦跳的心好像要蹦出来似的。这时候刘兰从舞台右边出来，手里拿着吸尘器。〕

刘兰：你怎么了？做了恶梦了吗？

王非：跟你没有关系。

刘兰：好，好。知道了。你快起床吧。

〔那天晚上，王非看京剧录像带。刘兰用毛线在织围巾。〕

刘兰：唉，你知道嘛，最近就在附近一家日本的大型超市 Ito Yokado 开张了。他们说东西又好又便宜。明天咱们也去看看吧。

王非：我不去。我不喜欢去人多人杂的地方。你想去就一个人去吧。

刘兰：你哪！怎么也跟你说不到一块儿……

王非：请静一下。

刘兰：唉，我说啊，你如果一直这样坐着不活动活动，将来想动都很可能动弹不得。那个时候你再说，我早该多走走、多动动就好了。

可到那时就为时已晚，世上是没有后悔药可买的啊。

〔刘兰慢慢地站起来，把围巾放在沙发上，走出了起居室。（下台）〕

王非关上了电视也进了卧室。（下台）

.....

〔舞台转换。王非的梦 ③〕

不知哪儿来的追兵正追赶着王非和美兰，拼命想逃脱追赶的王非和美兰的衣服破烂烂。〕

王非：咱们要逃到哪儿才好呢？ 我部队的人差不多都逃光了。

美兰：霸王，带着我只能拖你们的后腿，还是准我假让我走吧！

王非：“准你假”。什么意思？

美兰：我不能连累你们，我先走一步了。

〔说着美兰拔出了霸王佩带的刀，就要向自己的胸脯刺去。〕

王非〔说时迟、那时快〕：你干什么！

〔王非想拦住美兰，他抱起美兰，使劲儿地盯着她看，这时他才发现怀里抱着的不是别人，而是自己的妻子。〕

王非：唉！怎么是你，刘兰！刘兰，这是怎么回事？！

〔其实美兰：是我。对不起。到现在我一直扮装成美兰跟随着你。 就是刘兰〕

王非：你为什么要刺自己？干那样的傻事？

刘兰：我不想拖累你，现在我很累，我想休息一会儿。

王非：那你也不能做那种傻事啊！

刘兰：过去你是个非常和蔼亲切的人。你唱歌唱得特别好，每天晚上都给我

唱歌。

王非：是的。有时俩人还一起合唱呢。

刘兰：你还记得吗？结婚后咱们去颐和园、在水池边散步……

王非：咱们再去啊！刘兰，刘兰！

刘兰：我不行了，太累了。对不起。我先走了。

王非：不行，不行。你别去。别弃我而去呀！以后我洗碗，洗碟子。

我去旅游，去 Ito Yokado。所以你别走！你不能走啊！

.....

〔舞台转换。王非家的卧室。〕

王非：别走！别走！

刘兰：王非，王非！起床吧！

〔王非被刘兰唤醒，突然从床上跳了起来。〕

王非：你，刘兰！你复生了！

刘兰：你怎么了。说什么呢？做恶梦了吧。

王非：……。

刘兰：快起床吧。早饭准备好了。

〔王非和刘兰不声不响在吃早饭。〕

王非：早饭吃完后，咱们去 Ito Yokado 吧。

刘兰：你说什么？

王非：去 Ito Yokado ！

刘兰：唉呀，真是稀奇的事儿，你也想去外面了。

王非：偶尔我也想到外面去走走。

刘兰：太好了。后天女儿一家要来，今天去买几种好吃的糕点回来。

王非：对了，你不是说想买夏天的衣服吗？如果有合适的，你就买啊。

刘兰：你怎么了？今天太阳从西边出了啊！好像……？

王非：你总是多话。

刘兰：很对不起。

王非：我也想买一件衬衫呢。

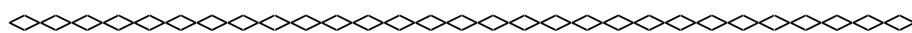
刘兰：是啊。去年因为这样那样开销很多。咱们一件衣服也没买。

王非：趁上午人不是太多的时候去吧！

刘兰：好啊，趁你还没改变主意时候去吧。

〔刘兰开始收拾桌子上的餐具。王非帮着她。刘兰穿对襟毛衣，王非披上夹克。王非小心地拿去刘兰的对襟毛衣上的废线。刘兰盯着看他，嫣然一笑。他们就这样走出了家门，王非的手还轻轻地搂扶着刘兰的腰部。（下台）〕

（本原稿の中国語版は2006年11月11日、多摩中国語講習会の交流会にて上演された会員による演劇『王非別妻』の脚本です。）



（日本語版） 王非別妻

王非と劉蘭はすでに退職している夫婦で、一人娘はすでに結婚し家を離れている。夫王非は熱狂的な京劇ファンで、一日じゅう京劇のビデオを見るほかな何もしない。たまに劉蘭と一緒に外出しようと誘っても絶対に行こうとしないうえ、劉蘭の家事を少しも手伝おうとはしない。

劉蘭は活動的な女性で、いつも安い団体旅行に入って名所旧跡を観光している。しかし、彼女はほかの夫婦が二人一緒に団体旅行に参加しているのを見ると羨ま

し見たあと眠くなる。彼は立ち上がり、大きなあくびをし、テレビを消して寝室に入っていく。]

.....

[舞台転換。王非の夢 ①]

王非： 名は何という。

美蘭： 美蘭と申します。

王非： まこと蘭に花のように華麗で美しいの。あれっ、「蘭」という名前、どこかで聞いたような気がするの。思い出せん。ま、いいか。今宵は戦勝の祝いじゃ。みなの方、思い切り酒を飲め、歌え、踊れ！

[一人の歌手が現代の歌謡曲を歌っている。]

王非： この歌は何だ？ 聞いたことがないぞ。

美蘭： これは最近いちばん流行っている歌でございます。

王非： そうか。とても速く歌っている。わしは以前の歌が好きじゃ。

美蘭： 私は現代のこのような歌が好きですわ。

王非： いいよ、いいよ。お前が聞きたいものを聞きなさい。

美蘭： ありがとうございます。

[美蘭は霸王に寄りかかり、一口で酒を飲み干す。]

王非： 今日は飲みすぎた。眠たいぞ。

美蘭： だめだめ。お眠りになってはいけません。

王非： だめだ。眠気には勝てん。眠らせておくれ。

美蘭： 王様、王様、お眠りにならないで。

.....

[舞台転換。王非の家の寝室。王非は目を覚ました。]

王非： ああ、夢か！

〔劉蘭が上手から出てくる。手に洗濯物を持っている。〕

劉蘭：ぐっすり眠ったのね。もう起きなさいよ。

王非：……。

劉蘭：何をぼっとしてるの。早く起きてくださいな。部屋を片づけなけりゃならないんだから。

王非：本当にうるさいな。起きようとしているところじゃないか。

〔王非は起きて、洗面所に行く。(下手に去る)〕

〔その日の夜、王非は京劇のビデオを見ている。劉蘭は毛糸のマフラーを編んでいる。〕

劉蘭：あなた。今度は一緒に観光バスの旅行に行きましょうよ。

王非：……。

劉蘭：聞こえてないの？

王非：黙っててくれ。今最高にいい場面なんだ。

劉蘭：まあ！ 京劇のほうが私より大事なんですか。

王非：……。

劉蘭：この前の旅行、李さんご夫婦はご一緒に参加されたんですよ。

王非：わしは行かんよ。ずっと車に揺られるのはいいとして、名所旧跡に着いても大急ぎで、こんな旅行は疲れるだけだ。

劉蘭：あなたって私のことなんかどうでもいいんですね。もういいわ。勝手にして。

〔劉蘭はマフラーをソファに置いて、寝室に行く。(下手に去る) 王非はテレビを消して、寝室に行く。(下手に去る)〕

.....

〔舞台転換。王非の夢 ② 戦勝祝いの宴会で、一人の舞姫がディスコ風ダンスを踊っている。〕

王非：あの舞姫の踊りは何かちょっとな……

美蘭：ご存じないのですか？ 今とっても人気のあるものなんですよ。

王非：そうなのか。でもわしはこんな踊りは好きじゃないな。

美蘭：だんだん好きになりますわよ。さあ、さあ、もう一杯どうぞ。

[そのとき外から叫び声が聞こえてくる。]

“王様！ 王様！ 敵が来ました。早くお逃げください！”

[王非と美蘭は手に手を取り、舞台上を駆け回り、駆けながら舞台から去る。]

.....

[舞台転換。 王非の寝室。王非がうなされている。]

王非： ああ。また夢だったのか！

[彼は疲れを感じており、手を胸に当てると、心臓はどきどきしてまるで飛び跳ねているようだった。その時、劉蘭が舞台右手から出てくる。手には掃除機を持っている。]

劉蘭： どうしたの？ 悪い夢でも見たの？

王非： お前には関係ない。

劉蘭： はい、はい。分かっていますよ。早く起きてくださいな。

[その日の夜、王非は京劇のビデオを見ている。劉蘭は毛糸のマフラーを編んでいる。]

劉蘭： ねえ、知ってるでしょう。最近近くに日本の大型スーパーのイトーヨーカドーができたの。品物が安くて良いんですって。明日見にいきましょうよ。

王非： わしは行かん。人のごった返しているようなところに行くのは嫌いだ。

お前が行きたかったら一人でいけばいい。

劉蘭： あなたっていう人は！ どうしてもあなたと一緒に話せないんですね……。

王非： 静かにしてくれ。

劉蘭：あなた。もしずっと座ったまま体を動かさないでいたら、将来動かそう
と思っても動かなくなりますよ。そのときになって「もっとよく歩いて
よく動いておけば良かった」と言っても、時すでに遅しですよ。この世
で後悔に効く薬は買えないんですからね。

〔劉蘭はゆっくりと立ち上がり、マフラーをソファーに置くと居間を出ていった。(舞
台から去る) 王非はテレビを消して寝室に行く。(舞台から去る)〕

.....
〔舞台転換。王非の夢。追っ手の兵士の追跡を、必死に逃れようとしている王非と美蘭
の衣服はぼろぼろになっている。〕

王非：我々はいったいどこまで逃げればいいのか。我が部隊の者はほとん
ど逃げてしまった。

美蘭：王様。私は足手まといになるばかりでございます。お暇をくださいませ。

王非：「暇をくれ」とは、どういう意味だ。

美蘭：あなた方を巻き添えにするわけにはいきません。一足お先に参ります。

〔美蘭は霸王が腰に差していた刀を抜き取り、自分の胸に突き刺さそうとする。〕

王非(慌てて)：何をする！

〔王非はそれを止め、彼女を抱きかかえてじっと見る。このとき初めて、胸に抱きかか
えているのが他でもない自分の妻であることに気づく。〕

王非：なんと！ どうしてお前が。劉蘭。これは一体どういうことだ？！

美蘭こと劉蘭：私でございます。申し訳ありません。今までずっと美蘭になり
すま してあなたに付き従ってまいりました。

王非：お前は どうして自分を刺そうとするのだ。こんな馬鹿なことを どうして？

劉蘭：足手まといにはなりとうございません。もう疲れました。休みとうござ
います。

王非： こんな馬鹿なことをしてはならん！

劉蘭： 昔は、あなたはとても穏やかで優しい人でした。歌がとっても上手で、
毎晩私に歌ってくださいました。

王非： そうだったな。時々は二人で一緒に歌ったこともあった。

劉蘭： まだ覚えていらっしゃるでしょうか？ 結婚したあと頤和園に行ったこと、
池のほとりを散歩して……

王非： もう一度行こう！ 劉蘭、劉蘭！

劉蘭： 私はもうだめです。とても疲れました。ごめんなさい。お先に参ります。

王非： だめだ、だめだ。行ってはだめだ！ わしを置いて行かないでくれ！

これからは茶碗も皿も洗う。旅行にもイトーヨーカドーにも行く。だから
行かないでくれ。行っちゃだめだ！

.....
〔舞台転換。王非の家の寝室。〕

王非： 行くな！ 行くな！

劉蘭： あなた、あなた。起きて！

〔王非は劉蘭に起こされ、がばっと起きあがる。〕

王非： お前、劉蘭！ 生き返ったのか！

劉蘭： どうしたんですか？ 何を言ってるんですか。悪い夢でも見たんでしょ
う。

王非： ……。

劉蘭： 早く起きてください。朝ご飯ができてますよ。

〔王非と劉蘭は黙って朝ご飯を食べている。〕

王非： 朝ご飯を食べ終わったら、イトーヨーカドーにでも行ってみるか。

劉蘭： 何て言ったの？

王非： イトーヨーカドーに行こう！

劉蘭： まあ。珍しいこともあるもんですね。あなたが外に出たいなんて。

王非： たまにはわしだって外に出て歩いてみたいと思うさ。

劉蘭： いいですね。あさって娘たちが来ますから、今日はなにか美味しいお菓子でも買ってきましょう。

王非： そうだ。お前、夏服を買いたいって言ってたんじゃないか？ もしいいのがあれば、買ったらどうだ。

劉蘭： あなた、どうしたんですか？ 今日はお天道様が西から出たみたいで……。

王非： お前はいつも一言多いんだ。

劉蘭： それは悪うございました。

王非： わしもシャツを一着買いたいな。

劉蘭： いいですね。去年はあれこれと物入りで、私たち一着も買いませんでしたからね。

王非： 午前中、人がそんなに多くないあいだに行こう。

劉蘭： いいですね。あなたの気が変わらないうちに行きましょうか。

[劉蘭は卓上の片づけを始める。王非が彼女を手伝う。劉蘭はカーディガンを着る。王非は上着をはおる。王非は劉蘭のカーディガンに付いている糸くずをそっと取ってやる。劉蘭は彼をじっと見つめにつこりとする。二人が家を出ようとするとき、王非はそっと劉蘭を抱き寄せる。]

□□□□□